大ノ木跨線橋の水路橋

JR山陽本線　峰高陸橋の北東に位置する大ノ木跨線橋の下に水路があり、
鉄道線路の上を川が流れているという非常に珍しい状況が廿日市市内にある。
鉄道敷設は明治二十九年に着工、そのときに水路橋が作られた。
翌年に上り線のみで開通し、その後昭和三年に複線化された。

①

跨線橋へ向かって流れていく水路の水

②

JR山陽本線の跨線橋の下に鉄製の
箱型枠があり水路としている

③

跨線橋の下に水路の水が流れている

④

跨線橋の下を流れてきた水路の水はここから下流へ
結構水量は豊富である